



協会へ届いたクイズハガキ

●負担割合、どんどん上がっていますね。(40代)

●医療費が上がると治療に行けなくなる。(60代)

●医療費は言われるがまま払うので、知らず知らずに負担が増えるのが怖いですね。(50代)

●物価が上がり年金が減少傾向で生活苦になっている。現行制度を継続して欲しい。(70代)

●私達の年代は年金の支給開始年齢も引き上げられ、年をしてからは医療費負担が増え、国に対する不信感が強くなる一方です。(50代)

●税金上げたら医療費を安くしてほしい。税金の使い道がいまいちだと思います。(10代)

●医療費の抑制が必要としても直ぐ患者負担にする前に、節約・合理化の知恵を!(70代)

●政府は口を開けば医療、介護の費用増大を口実に国民に負担を強いる。年金からの天引きは特にやり易いと思われる。防衛予算、議員報酬など見直した上の話だと思われるが…。(70代)

●我々高齢者やひ孫たちの医療費負担が減ってくれることを切に願っています。安心して子供を産めて育てられる日本であって欲しいです。(90代)

●4人目妊娠中です。子供たちの未来を考えると色々不安になります。(30代)

●将来、医師を目指す人が増えていく社会を望みます。(30代)

令和3年1月の金パラ価格改定はなし!

金パラについては10月実施の随時改定Iで1グラム2,450円に引き下げられたばかりだが、令和3年1月に予定される随時改定IIは、すべての歯科用貴金属の変動率が±15%を超えたため、告示価格の変更は行わないことが10月28日開催の中医協総会で報告された。

金パラ逆ザヤシミュレータ 引き続きご協力を

そもそも歯科用貴金属改定における

クイズ・署名 参加者の声

「みんなでストップ! 患者負担増」

10月に開始した「クイズで考える私達の医療」待合室キャンペーンと2019年度より継続している「みんなでストップ! 患者負担増」署名活動では、11月20日現在、クイズ1280通、署名2591筆が届いています。

75歳以上の窓口負担2割化や大病院への紹介状なし受診の追加負担、市販類似薬の保険外しなど、身近な医療問題について県民に関心を持ってもらうことを目的とした活動です。今号ではご意見欄に寄せられたコメントを一部紹介します。

なお、クイズチラシや署名用紙、ハガキ入りポケットティッシュ等は無料でお送りしています。ご協力いただける場合は県保険医協会までご連絡ください。(TEL.026-226-0086)

●とりあえず現状で良い気がする。(50代)

●ご年配の方から2割負担金を頂くのは少し気が引けると言うか、申し訳ない気持ちになります。(20代)

●公的・公立病院の統合には反対です。実家のある地域の病院も対象とされていますが、地域で重要な役割を担っており、なくなることは考えられません。他の地域でも同様だと思います。(50代)

●ベッド数の減少は医療の先細りになるので余裕のある医療体制が必要だと思います。(30代)

●コロナ禍でご苦労様です。私たちの命を預かってくださる皆様頑張ってください。(20代)

●コロナを通して医療体制がとても大事だと改めて感じました。(20代)

●コロナ禍でただでさえ生活が不安定な中、安易に患者負担額を増やす場当たり的な政策がとても嫌です。こんな時だからこそ保障の強化、医療の受けやすさを強化することで、國民に安心を与える努力というものを國には見せて欲しいと願っています。(30代)

●今回のコロナ禍を教訓として、医療体制に余裕を持たせるとともに、医療機器や備品の国産化を推進してほしい。(70代)

●新型コロナウイルスの予想外の流行で、政府の病床数減少計画が見直されれば良いと感じました。平時に必要なものを維持することが國に期待されます。(30代)

●国はどのような根拠に基づいてベッド数を減らしているのでしょうか。増やせば病院は満床にしたいですし、減らせば行き場のない患者さんが現われるでしょうし…。バランスをどうとけばいいのでしょうか。(50代)

●収入、年金、免許返納など、年齢を増すごとに厳しくなる現状がある中、医療費の窓口負担増は受診を控えたり、体調の更なる悪化を招くことが予想され、ベッドの稼働率が低下したりデメリットの方が多いと思います。(40代)

●医療に携わる者として、医療にかかれない人のいる世の中ではいけないし、地方の病院がなくなってしまうようではいけないと思う。また、都市のある都道府県と医療の質、医療費負担等、長野県が遅れを取ってはいけないと感じる。(30代)

●患者負担増により医療に受診抑制と介護利用中止が発生しています。保険料を支払っても利用できないのでは、何のための保険なのか分かりません。(60代)

●歯の特定健診があればいい。(60代)

●新型コロナ予防の為にも定期的に受診しています。(50代)

●歯科受診が感染症予防につながることをもっと歯科現場でPRすべき。(60代)

●コロナだから学校で給食後の歯磨きしなくなった。これからインフルだからやった方がいいよね~。(小学生)

●歯科も感染リスクを抱えながら毎日がんばっています。国も医科と同様の配慮をよろしくお願いします。(30代)

●抗アレルギー薬は保険適用にしてほしいです。(20代)

●1割負担のままにする代わりにジェネリック医薬品を使うようにしてもらえばいいと思います。(40代)

●後発品に対する誤った認識を持った人が意外といいます。後発医薬品の推進のためにも正しい情報を広めて下さい。(40代)

ザヤシミュレータにより素材価格ではなく、あくまでも金銀パラジウム合金としての市場価格を調査し、実際の乖離がどの程度あるのかを厚労省、国会議員、マスコミ等に発信し、金パラ「逆

ザヤ」の即時解消を強く求めていくことが必要だ。

歯科開業医会員の先生方には今月も調査依頼チラシを同封しているので、引き続き是非ご協力頂きたい。

	告示価格		試算価格	R3年1月 随時改定II	告示価格案
	R2年7月 随時改定II	R2年10月 随時改定I			
歯科鋳造用金銀パラジウム合金 (金12%以上JIS適合品)	2,662	2,450	2,626	7.2%	2,450

※随時改定IIでは変動率が±15%を超えた場合、診療報酬改定時及び随時改定I時の3ヶ月後に告示価格の見直しを実施する。

※各事項は1g当たりの価格。

そのために、金パラ逆